

道徳通信

愛西市立八開中学校
第1学年
令和3年5月14日
No. 4

「夢を叶えるために大切なことは何だろう」 ～道徳「夢を諦めない」を通して考えました～

青森生まれの北村麻子は中学生、高校生になっても夢が見つからなかった。いろいろな仕事をしたり、習い事に行ったりしても長くは続かなかった。そんな麻子に運命的ともいえる事件が起こった。父の作品がねぶた大賞を受賞したのだ。その作品を見た麻子は体中に電流が走ったかのような衝撃を受けた。

「私がしたかったのは、これなんだ。」

2年、3年……。父がなにも教えてくれなくても麻子は作業場に通い続けた。父や先輩たちの仕事をひたすら見て覚えた。気が付いたことをノートに書き続けた。

ノートが何冊にもなったとき、父は麻子が「ねぶた師」になることを許してくれた。

数年後、麻子の作品は念願のねぶた賞を受賞することができた。

「夢を諦めなくてよかった。」という麻子の言葉にはどんな思いが込められているか、夢を叶えるために大切なのは何かを考えました。

●● ●●さん

自分の夢を叶えるためになりたいことについてたくさん勉強し、夢を叶えたいと思った。

●● ●●さん

人はよく「あきらめるな！」とか「夢に向かって進め」と簡単に言うけれど、ずっと夢を持ち続けたり、諦めずにがんばるとするのは難しいと思った。

●● ●●くん

夢を叶えるためにはどんな事件がおきようとあきらめない強い心をもっていることはとても大事だと思いました。

●● ●●さん

夢をあきらめたらそこで夢をかなえることはできないから努力をすることが大切。

●● ●●くん

自分が尊敬している人や目指している人の行動を見て、あとは努力をすることが大切だとわかった。

●● ●●くん

自分の夢を目標にしていけば、何かいいことはあると思った。

●● ●●さん

才能があるかどうかは努力しないとわからない。まずは才能がないからとあきらめるのではなく、努力してから言うのが大切だと思う。

●● ●●くん

授業前は夢を叶えるのは簡単だと思っていたけれど、夢を叶えるためには苦勞をして夢を叶えるということがわかりました。

●● ●●さん

苦手なことでも少しでもできるように努力することが大事。